

## 加速アクションプラン個票

<b>①実施項目</b>	16 独自歳入検討事業	②No.22	実施状況 実施中			
<b>③加速プラン事業名</b>	ごみ処理減量化検討事業					
<b>④所管課</b>	環境課					
<b>⑤現状と課題</b>	<p>【現状】現在、収集・溶融・資源化・埋立に要するごみの処理費は、年間約6億円もの予算が必要となっています。その経費を抑制するためには、ごみの減量化が早急な課題となっています。そのごみの排出抑制の手段として、ごみ処理の有料化は有効な施策であると考えられており、今後避けて通れない問題となりつつあります。新たに設置した県央ブロックごみ処理の広域化準備協議会等の場でも議論し、広域対応していかなければなりません。</p> <p>【課題】人口の伸び悩みによって、ごみ処理量も減少してきているが、コストがなかなか減らない現状にあります。費用負担の公平性からも、ごみ処理の有料化についても、検討していかなければなりません。ただ、施策の推進のためには、住民の理解のための相当の時間が必要であります。導入は、広域ブロックで同時導入が最良であるので検討していきたい。</p>					
<b>⑥取組み内容</b>	<p>現在、岩手県では、家庭ごみ有料化検討会を立ち上げています。県内全体で8市町村と3処理組合で検討しています。本村も参加して検討中です。これに先立ち、本村では、平成16年度に滝沢村廃棄物減量等推進審議会を設置し、アンケート等を実施し調査研究しているところです。</p> <p>①滝沢村廃棄物減量等推進審議会の開催 ②ごみの減量化の勉強会の開催 ③ごみ処理の有料化についての勉強会の検討結果による取組み実施</p>					
<b>⑦年度計画</b>	H19	H20	H21	H22	H23	H24
平成19年度から平成21年度までは集中取組期間です。	滝沢村廃棄物減量等推進審議会の開催①	ごみ処理の有料化についての勉強会		ごみ処理の有料化についての勉強会検討結果による取組み		
	3	3	3			
計画値	単位(回)					
実績値	単位(回)	2				
<b>⑧目標</b>	<p>【計画値算式】 ごみ処理の有料化についての勉強会開催回数(H20～H21)</p> <p>今後の勉強会しだいであるが、ごみ処理の有料化については、ごみ袋に有料化分(1リットル当たり2円)を賦課して販売することを案として考えている。この場合、1億1千万円程度の歳入を目標とする。</p>					
<b>⑨効果</b>	<p>ごみ処理にかかる経費について、住民の方々に関心を持っていただくことができ、更にごみの減量化に繋がる。また、独自歳入として、村財源に寄与することができる。</p> <p>※ごみ処理の有料化についての勉強会検討結果により、有料化に取り組む場合は、歳入見込みを計画値及び実績値として把握する。</p>					
<b>⑩達成度</b>	H19	H20	H21	H22	H23	H24
	審議会開催	/	/	/	/	/
<b>⑪国集中改革プラン報告項目別全体計画(対H16) ※当該加速プランが含まれる項目について表記</b>						
【項目名】歳入その他	H17	H18	H19	H20	H21	合計
全体報告値	計画値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0	1,000	1,000	1,000
	差額	0	0	1,000	1,000	1,000
単位:千円						